

全国史跡整備市町村協議会の概要

1 設 立 昭和41年1月7日

2 組織・目的

主として史跡名勝、天然記念物及び重要文化的景観を所有する市町村をもって組織され、加盟市町村が協調して、史跡等の整備に関する調査研究及びその具体的方策の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的とする協議会である。

活動は、史跡保全議員連盟や文化庁との密接な連携のもと行われ、全国史跡整備市町村協議会関係予算（「史跡等公有化助成」、「史跡等整備活用事業」、「埋蔵文化財発掘調査等」の3本柱）に、「能登半島地域における文化財の復旧支援」を追加。4つの要望に対する予算確保に向けた陳情活動等を積極的に行っている。

3 役 員

会 長 1 静岡県三島市（令和2年11月5日～）

副会長 10 函館市、酒田市、富岡市、長野市、大垣市、与謝野町、総社市、松山市、太宰府市、うるま市

理 事 23 余市町、北見市、弘前市、多賀城市、川越市、宇都宮市、小田原市、国分寺市（兼相談役）、白山市、福井市、小牧市、明和町、堺市、赤穂市、奈良市、鳥取市、津和野町、高松市、宇和島市、長崎市、薩摩川内市、南城市、中城村

監 事 2 大仙市、香取市

4 任 期 2年

5 加盟市町村数 630市町村（市：434 町：178 村：18） 令和7年4月1日現在 ※設立時：39市町村、最大：696市町村（平成15年度）

6 負担金 市：4万円 町：2万円 村：1万円 ／（年額）

7 予 算 24,132,000円（令和7年度予算）

8 令和7年度主要事業

(1) 第60全国大会・総会 10/15～17（小牧大会）

○総会・情報交換会（15日）

○エクスカーション（16～17日）

（参考）令和8年度（予定：北海道函館市）

(2) 臨時大会 11/14（ホテル・ニューオータニ）

○臨時大会（8:30～）

○陳情活動【都道府県別陳情活動】（9:15～）

○陳情報告会、記念講演等（13:30～）

(3) 役員会 第1回：7/8 ・ 第2回：10/15

(4) 担当部課長会議 8/29（リモート開催）

- (5) 予算対策懇談会 7/8 (衆議院議員会館会議室)
- (6) 都道府県別陳情活動(都道府県) 9月から随時
- (7) 補助事業 ・地区協議会、都道府県史協への補助
地区協への補助金 300千円×10協議会=3,000千円
県史協への補助金 50千円×23協議会=1,150千円
・奈良文化財研究所研修参加者への補助
交通費等を補助、30名 予算額 1,300千円
- (8) 広報活動(会報発行、リーフレット作成等)
・全史協会報2026⇒1,100部作製
加盟市町、議連、文化庁等へ配布
・全史協ホームページの開設

【参考1】

歴代会長

	会 長	任 期		会 長	任 期
1	静岡市長	S 4 1～S 4 4	8	奈良市長	H 1 0～H 1 6
2	福岡市長	S 4 4～S 4 6	9	小田原市長	H 1 6～H 2 0
3	萩市長	S 4 6～S 5 0	10	多賀城市長	H 2 0～H 2 4
4	和歌山市長	S 5 0～S 5 8	11	太宰府市長	H 2 4～H 2 7
5	長野市長	S 5 8～S 6 0	12	国分寺市長	H 2 7～R 2
6	姫路市長	S 6 0～H 6	13	三島市長	R 2～
7	宇都宮市長	H 6～H 1 0			

【参考2】

史跡保全議員連盟

設 立 昭和62年7月14日

人 数 216名(衆議院144名、参議院72名)

令和7年4月1日現在

役 員 代表世話人：中曽根 弘文

世話人：細野 豪志

世話人：竹内 譲

世話人(事務局長)：丹羽 秀樹

世話人：松本 洋平

世話人：赤池 誠章